

松田町民文化センター複合拠点施設化整備事業概要

文化・スポーツ・未病改善・国際交流機能を有した複合施設への
リノベーションによる賑わいのある広域拠点づくり

松田町民文化センター



1. 施設名称 松田町町民文化センター

2. 施設の場所 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 2078 番地

3. 事業目的

松田町民文化センター及び松田町立公民館は、教育・文化に関する事業を行い、住民の教養の向上や生活文化の振興等に寄与する混合施設として地域では先駆的に建設（昭和 56 年）したが、利用者はピーク時の 3 割弱まで落ち込んでいる。この要因としては、近隣市町で同種の施設が設置されたことと、建設以来、文化振興という役割を変わずに担ってきたことが挙げられる。

本事業では、同施設に「県西地域で必要とされ、他と差別化した新たな機能」を付加した広域的な複合拠点施設へリノベーションすることで、賑わいの復活と地域経済を活性化させていく。賑わい創出をけん引する新たな機能は、トレンドや今後の可能性を加味したスポーツ環境（スポーツクライミング）の整備と、東京オリンピック 2020 等を控えインバウンド対応が必要な国際交流基地の構築とし、拠点としての役割は本町のみならず、県西地域へ波及する効果が見込めるものとする。

特に、日本人クライマーが世界のトップにひしめくスポーツクライミングは、東京オリンピック 2020 の正式種目に決定し、今後、爆発的な認知度向上を見込むが、都市部と違い近隣に競合する施設が少ないため、将来的な潜在ニーズの独占的な獲得が期待できる。さらに、年 20 万人を数える丹沢山系への登山者などアウトドア愛好家の主要な入口という立地も同協議の推奨に利点となる。

また、国際交流機能については、本町を含む足柄上地域で、増加傾向にある訪日外国人のインバウンド効果が見込まれる実態があるため、この要因である受け入れ環境を人財育成という観点から改善していく。事業は、広域で取り組む組織・基盤を立ち上げ、インバウンドの恩恵を地域全体で教授できる仕組みを目指していく。

このように加える新たな機能は、従来スポットが当たってきておらず、事業としては新たな顧客獲得（稼ぐ）に取り組むものであり、同時に駅周辺エリアで定まっていない賑わいある地域の拠点(核)を創出する役割を果たす。そして、新たな拠点から織りなされる柄（事業）は、相互に様々な化学反応を起こしながら、足柄の広域拠点として地域を繋ぐ絆を強める。

なお、事業継続していくために、一方通行でサービスを提供するだけの施設ではなく、付加価値に対価を発生させる内容を目指し、民間活力を導入しながら、稼ぎ（スポーツクライミングの利用料、カフェの売り上げ、英会話教室の運営、通訳・案内マッチング運営による収入）、自走可能なスキームを構築する。

特に、同施設の現状として維持管理経費（支出）と使用料等（収入）の収支は、年 4,000 万円を超える赤字（平成 26、27 年度平均）であるため、まずは前述の各種事業を展開して収支バランスの均衡を目指す。このように維持管理・事業運営等を民間等に委ねる過程で、本施設は「公の経営」から、収益を生み出す「官民協働経営施設」へと生まれ変わる。

民間活力の導入方法の第 1 歩として

- ・施設が目指す方向性（概要）を示す中で、状況に応じて民間企業の創造性と経営感覚を活かすことが必要と考える。

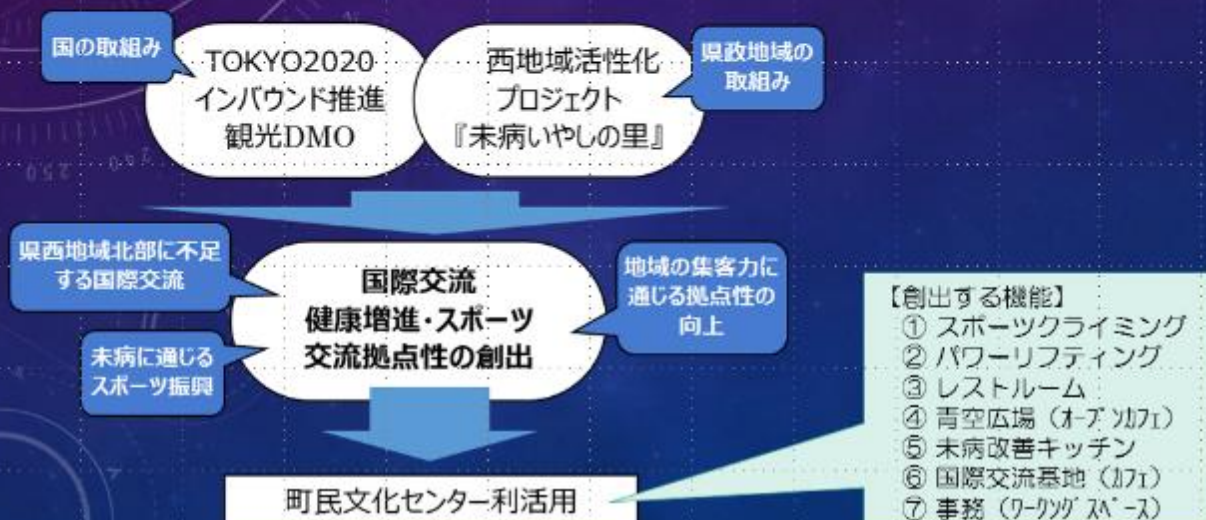
（1）新たな公共施設の活用方法の検討

（2）回収工事・必要備品等に関する提案（プロポーザル方式）活用

4. 事業方針

松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

- ◆ 県西活性化プロジェクトとして進められている、「未病いやしの里」づくりの推進に寄与し、県西北部地域の活性化に波及効果をもたらす「拠点」形成する。
- ◆ そこで、松田町民文化センターについて、「県西地域で必要とされ、他と差別化した新たな機能」を付加し、広域的な複合交流拠点としてリノベーションすることで、賑わいの復活と地域経済を活性化させていく。
- ◆ 新たな機能として、今後の可能性を加味したスポーツ環境（スポーツクライミング）、東京オリンピック等に関連したインバウンド対応として国際交流基地を創出する。



松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

【展開方向・期待される効果】

【新たに創出する機能】

① スポーツクライミング・ウォール

- ・公式大会の開催、ホールステージでも開催可能
- ・クライミングイベント（デモ）の開催
- ・体験イベント（裾野を広げる）→ 既存ジムへ
- ・選手の育成（学校との連携）→ 既存ジム連携

小田急沿線でもクライミングが盛ん、県西北部の拠点としてメッカを目指す。小田原からのアクセスも考慮し、公式大会の開催やデモンストレーションイベントなどにより、外国人の集客も期待される。また、体験イベントの開催により裾野を広げることで、競技者の創出と定着を生む。

② パワーリフティングルーム

- ・国体種目を活かす？
- ・トレーニングジム機能 ← クライミング関係者他

③ レストルーム

- ・シャワールームなど完備
- ・大会、イベント、ジム利用者に対応

④ 青空広場の拡充

- ・開閉式（布等）の屋根、テーブル・ベンチを設置
- ・オープンカフェ的に憩いのスペースを創出

青空広場に屋根を整備しカフェエリアと連携し、日常的な交流人口（溜まり）を創出。

⑤ 未病改善キッチン

- ・足柄地域の食材を活用した未病レシピの開発
- ・コンテストの開催、試食会、料理教室など

未病改善キッチンにおいては、未病レシピ開発、料理イベントの開催などにより、新たな料理の開発など、地域の「ウリ」を創出。

⑥ 国際交流基地（カフェ、サロン）

- ・英会話カフェなどコミュニティスペースを創出し、外国人、子ども、高齢者までが集う。

英語が話せるカフェなど、国際交流を促進。

⑦ そのほか（営業事務、運営機能）

- ・事務機能（イベントの仕掛けなど運営を強化）
- ・プラットフォーム機能（コワーキングスペース）

事務所機能に留めず、多様な主体が集まるプラットフォーム機能を創出。

5. 整備イメージ

松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

① スポーツクライミング・ウォール

○リードクライミングウォール



○ボルダリングウォール



ホール舞台を利用し、公式のクライミング大会の開催に対応したボルダリングウォールを設置。
ス公式大会の誘致、スポーツクライミング普及啓発のイベントの開催、体験イベントなどを実施。
ホールであることから、天候に左右されず、観客もゆったり観戦できる特徴的な常設クライミング施設となる。
また、外壁を活用したリードクライミングウォールを設置し、公式大会を誘致するとともに、象徴的なモニュメントとしても発信力のある施設となる。

松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

② パワーリフティングルーム



○パワーリフティングルーム

- 未病・体力増強のためのパワーリフティングルームを設置
- 全面ミラーにすることで、限られたスペースを広く見せる。



神奈川国体開催時に「パワーリフティング」の会場であったことを踏まえ、パワーリフティングなどのトレーニングが行えるスペースを創出。
クライミングウォール、未病改善キッチンなど合わせ、健康増進の一翼を担う。

松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

③レストルーム

○シャワールーム

- シャワールームおよび脱衣所を設置
- 細長い空間を活かしたコンパクトなシャワールームを整備

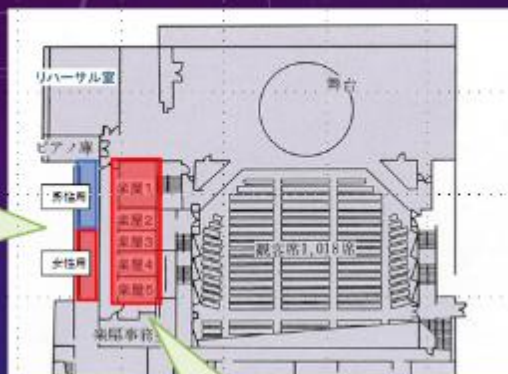


脱衣所イメージ



シャワールームイメージ

スポーツクライミングイベントやジム利用者が使用できる、シャワールームを整備する。
また、楽屋においても、簡易のシャワールームを設置するなど、幅広い施設利用(イベント)に対応できる楽屋とする。



○レストルーム

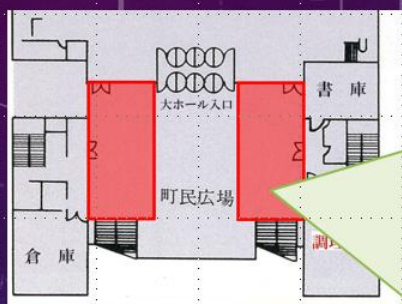
- スポーツクライミング競技者の休憩機能をつくる。



レストルームイメージ

松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

④青空広場の拡充

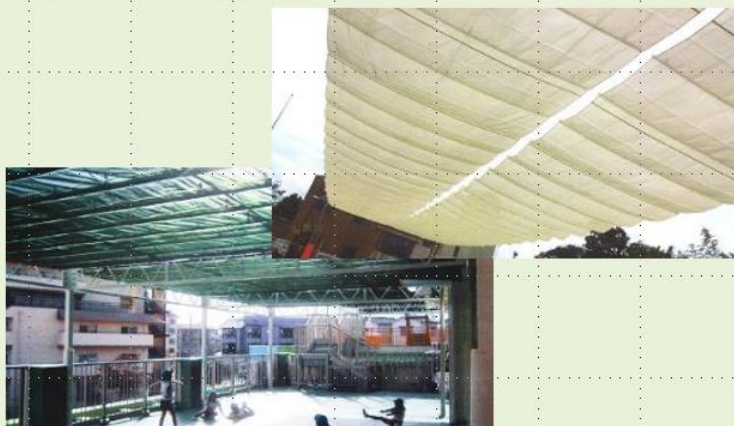


○青空広場

- ・全天候型改修(ひさし設置): 7m×17m×2列、開閉式
- ※写真はイメージ

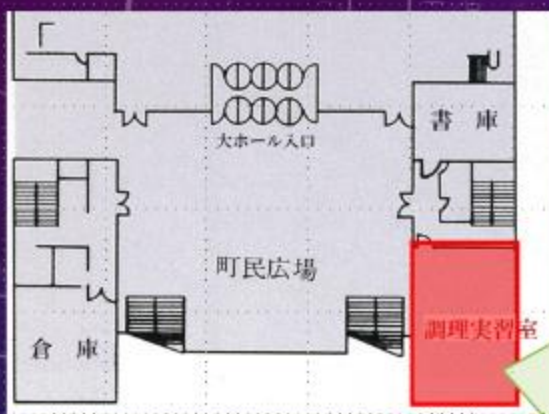
- 右図は5mのひさしであり、設置予定の7mはあまり事例が無く、建物が古いため、躯体が耐えられるか調査が必要。
- 右下図は、広場に柱を設置する方法で実現性が高い。しかし、柱により広場の景観・回遊性が損なわれる。
- 下図は、外壁にフレームを付け、ワイヤーで開閉式にしたもの。構造上実現可能か調査が必要である。

町民広場スペースに屋根(ヒサン)を設けることで、オープンカフェ的な空間として活用する。建築面積の関係から、開閉式(布等)により、通常は開放する。



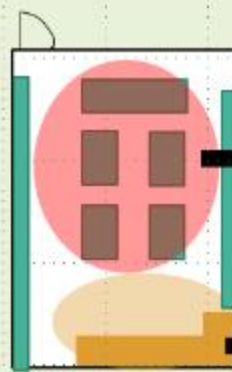
松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

⑤ 未病改善キッチン



○ 未病改善キッチン

- 現在の調理実習室を更新するとともに、未病改善をテーマに試作品が開発できる厨房機能を設置



単なる調理室としてではなく、本格的な料理を行う事が可能な厨房設備を導入し、松田町をはじめとする足柄地域の農作物などを活かした、未病レシピの開発や、コンテスト、料理教室の開催を行う。開発されたメニューは、カフェのメニューに組み込んだり、町内外へ発信する事も考えられる。

松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

⑥ 国際交流基地（カフェ、サロン）



CAFE	BAR	FOOD	HOSTEL
ESPRESSO 100円	COFFEE 80円	SAFETY 100円	FOOD 100円
AMERICAN 100円	COFFEE 80円	COFFEE 100円	FOOD 100円
DEEP COFFEE 100円	COFFEE 80円	COFFEE 100円	FOOD 100円
COFFEE 100円	COFFEE 80円	COFFEE 100円	FOOD 100円

平成30年度 施工予定

英語ボランティア、外国人留学生、外国人労働者、外国人家族などが、気軽に集い、英語や日本語でコミュニケーションを取るカフェを創出する。
国際交流の拠点として、子どもたちのグローバル教育の場として、インバウンド対策として、拠点性を創出する。



松田町民文化センター複合拠点施設が目指すもの

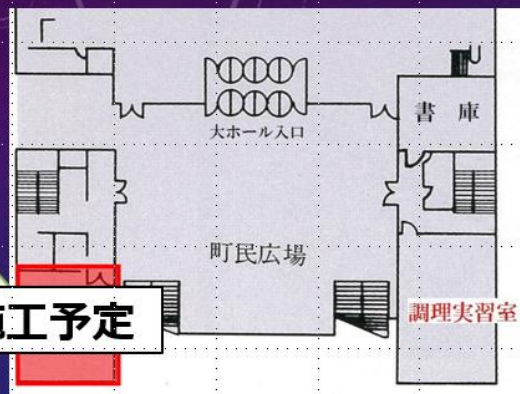
⑦そのほか

○スポーツ・未病事務所

- 従来のオフィス事務所ではなく、イベント・ワークショップも可能なフリースペースの事務所を想定
- コワーキングスペースとしての活用も考えられる



平成30年度 施工予定



コワーキング (Coworking) とは、事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイルを指す。

一般的なオフィス環境とは異なり、コワーキングを行う人々は同一の団体には雇われていないことが多い。

通常、在宅勤務を行う専門職従事者や起業家、フリーランス、出張が多い職に就く者など、比較的孤立した環境で働くことになる人が興味を持つことが多い。